平成２７年度中心市街地活性化関連予算について
（実現すべき予算・税制・制度改正等における予算事項）

文部科学省

平成 27 年度予算額（平成 26 年度予算額）

中心市街地活性化事業の強力な推進
（少子高齢化にも対応した多様な機能の整備）

１　公立文教施設の整備　204,874 百万円の内数（127,077 百万円の内数）

公立学校施設の非構造部材を含む耐震化や防災機能の強化を進め、災害時に地域住民の避難所としての役割を果たす上での安全性等を確保するとともに、他の文教施設や福祉施設との複合化を図ることに伴い必要となる多目的ホール等のスペースの整備や、談話室、トレーニング室等を備えたスポーツ施設の整備等について交付金等による支援を行う。

地域事情を反映した多様なまちづくりの支援
（中心市街地を活性化させる文化芸術活動）

１　劇場・音楽堂等活性化事業　3,000 百万円（3,003 百万円）
２　文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業　2,621 百万円（新　規）
３　文化財建造物等を活用した地域活性化事業　1,100 百万円（1,344 百万円）
4　歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業等　7,024 百万円（新規）
5　地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業　1,308 百万円（新規）
６　文化遺産を活かした地域活性化事業　2,147 百万円（2,147 百万円）
７　伝統的建造物群の保存修理等　1,202 百万円（1,202 百万円）
８　日本遺産魅力発信推進事業　807 百万円(新　規)

中心市街地を含む地域を活性化させるため、各地域の文化芸術資源、劇場、音楽堂等、美術館・歴史博物館及び文化財等を活用した様々な文化芸術活動を支援するための事業等を実施する。